

2025/26 シーズンにおけるインフルエンザワクチン等の接種に関する考え方

2025 年 10 月 23 日

予防接種推進専門協議会

• 2025/26 シーズンにおいてもインフルエンザワクチンの積極的な接種を強く推奨します

新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）のパンデミックが始まった 2019/20 シーズン以降は、2020/21、2021/22 シーズンにおいて、国内での大規模なインフルエンザの流行は認められておりませんでした。2023 年 5 月に COVID-19 が感染症法上の 5 類感染症になって以降、社会では人流が増加して、様々な感染症の流行がみられ、そうした中インフルエンザも 2023 年 9 月頃より急激に増加するなど、流行状況の予測がつきにくい状態が続きました。2024/25 シーズンのインフルエンザは、2024 年第 44 週に全国的に流行開始と判断される定点当たり報告数 1.00 を上回り、その後も定点当たり報告数は増加して第 52 週には 64.39（患者報告数 317,812）と、感染症法にもとづく現行の報告体制となった 1999 年以降最大の数値となりました¹⁾。急激な患者数の増加で全国の医療機関が対応に迫られたのは記憶に新しいところです。この原因としては、COVID-19 流行中の感染防止対策の強化によりインフルエンザの流行が抑えられインフルエンザに対する免疫が低下していたことや、ワクチン接種率の低下などが指摘されています²⁾。2024/25 シーズンはインフルエンザワクチン使用量が 2,307 万本（供給量 2,722 万本）と 2010/11 シーズン以降、最も少ない使用量となっておりました²⁾。2025/26 シーズンにおいては、第 39 週にインフルエンザの定点当たり報告数が 1.04 となり、早くも全国的な流行シーズンに入ったとされており、今後の流行が予想されています³⁾。増加傾向にある新型コロナウイルス感染症との同時流行も懸念されることから、速やかなワクチン接種が求められています。一方で 2025/26 シーズンのインフルエンザワクチンの供給は十分であり、ワクチンの出荷も早い状況にあるので、これから接種する方がいらっしゃっても不足する心配はありません。

インフルエンザワクチンは、インフルエンザの発症を予防する効果があり、学校での欠席日数を減らす効果や⁴⁾、インフルエンザによる入院を減らす効果⁵⁾も報告されています。予防接種推進専門協議会は 2025/26 シーズンにおいても、インフルエンザワ

クチンの接種を受けることを強く推奨いたします。

・新型コロナウイルス感染症の流行も続いています

入院を含む重症化を予防する手段としてのワクチン接種は有効であると考えられ
オミクロン変異株対応新型コロナワクチンの接種、特に定期接種を強く推奨します

新型コロナウイルス感染症は、前述のとおり 2023 年 5 月に感染症法上の新型インフルエンザ等感染症（2 類相当）から 5 類感染症となり、感染対策上の法的なしぼりが緩和されました。それに伴い社会活動の様々な制限がなくなりましたが、現在も流行は続いており、入院患者の約 80%が、60 歳以上の高齢者です⁶⁾。一方この間のオミクロン変異株対応新型コロナワクチンの接種率は必ずしも高くない状況です⁷⁾。

新型コロナワクチンは 2024 年 4 月 1 日から定期接種に位置付けられ、65 歳以上の方及び 60～64 歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方等を対象に、2024 年 10 月から秋冬接種として年に 1 回接種することになりました。定期接種対象者以外の方については、任意接種として個々の判断で接種していただくこととなります。また使用されるワクチン株については、厚生労働省の審議会により、2024 年秋以降の新型コロナワクチンはオミクロン JN.1 対応 1 価ワクチンの使用を基本とする方針が決定されました⁸⁾。2025 年度秋冬接種に使用される新型コロナワクチンは、オミクロン株の JN.1 系統である LP.8.1 や XEC に対応したワクチンであり、現在流行中のオミクロン NB.8.1.8 株等に対しても有効であるとされています⁹⁾。

予防接種推進専門協議会は、重症化や罹患後症状の発症を抑えるためにも、2025 年 10 月から開始されるオミクロン変異株対応新型コロナワクチンの接種、特に定期接種を強く推奨いたします。

・高齢者の方に、肺炎球菌ワクチンの接種を強く推奨します

肺炎球菌ワクチンには 23 価莢膜多糖体ワクチン（PPSV23）と 13 価結合型ワクチン（PCV13；2024 年 10 月より発売中止）、15 価結合型ワクチン（PCV15）、20 価結合型ワクチン（PCV20）、21 価結合型ワクチン（PCV21；2025 年 10 月下旬発売予

定) があります。65 歳の高齢者および 60 歳から 65 歳未満の日常生活が極度に制限される程度の基礎疾患を有する方を対象として実施されている定期接種には現在 PPSV23 が使用されていますが、PCV15、PCV20、PCV21 も任意接種として接種可能です。ただ高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチン定期接種の実施率は低水準で経過しており、より一層の接種率向上が求められています¹⁰⁾。

肺炎球菌は肺炎の主要な原因菌であり、菌血症や細菌性髄膜炎などの重症感染症を起こしやすい細菌です。高齢者の方は肺炎球菌感染症が重症化するリスクが高いため、定期接種の対象年齢にかかわらず、未接種の方には肺炎球菌ワクチンを接種することが医学的観点から推奨されます。定期接種対象外の 65 歳以上の高齢者（過去に定期接種で PPSV23 を接種してから 5 年以上経過し、再接種に該当する高齢者を含む）および 65 歳未満の肺炎球菌感染症に罹患するリスクの高い方には、PCV20、PCV21 の接種、もしくは PCV15 を接種してから 1－4 年の間隔において PPSV23 を接種することが推奨されます¹¹⁾。

【文献】

- 1) IDWR 2024 年第 52 号<注目すべき感染症> インフルエンザ
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2024/52/article/index.html>
- 2) 第 3 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会 季節性 インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの製造株について検討する小委員会 資料 4 (2025 年 5 月 28 日)
<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001494610.pdf>
- 3) インフルエンザ (2025 年第 39 週) 疫学情報
https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/202539/2025_39_flu_epi.pdf
- 4) Jefferson T, Rivetti A, Di Pietrantonj C, Demicheli V. Vaccines for preventing influenza in healthy children. The Cochrane database of systematic reviews 2018;2:Cd004879.
- 5) Talbot HK, Zhu Y, Chen Q, Williams JV, Thompson MG, Griffin MR. Effectiveness of influenza vaccine for preventing laboratory-confirmed influenza hospitalizations in adults, 2011-2012 influenza season. Clinical infectious diseases : an official publication of the Infectious Diseases Society of America 2013;56:1774-7.
- 6) 国立危機管理研究機構：急性呼吸器感染症サーベイランス週報.
https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idss/content/teiten_ARI/index.html
- 7) 第 56 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会・第 79 回厚生科学審議会感染症部会 資料 (2025 年 9 月 15 日)：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染状況及び取組状況等について.
<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001146454.pdf>
- 8) 第 2 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 研究開発及び生産・流通部会 季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの製造株について検討する小委員会 資料「2024/25 シーズン向け 新型コロナワクチンの抗原組成について」2024 (令和 6) 年 5 月 29 日.
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/newpage_00104.html
- 9) 第 3 回 厚 生 科 学 審 議 会 予 防 接 種 ・ ワ ク チ ン 分 科 会 研 究 開 発 及 び 生 産 ・ 流 通 部 会 季 節 性 インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの製造株について検討する小委員会 資料「2025/26 シーズン向け 新型コロナワクチンの抗原組成について」2025 (令和 7) 年 5 月 28 日.

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/newpage_00149.html

- 10) 第 22 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会 資料（令和 5 年 12 月 1 日）：高齢者に対する肺炎球菌ワクチンについて. <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001173696.pdf>
- 11) 日本呼吸器学会呼吸器ワクチン検討委員会/日本感染症学会ワクチン委員会・合同委員会：「65 歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方（第 7 版）」（2025 年 9 月 30 日）

https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/guidelines/o65haienV/o65haienV_251001.pdf